

技術開発テーマ名

[商業衛星コンステレーション構築加速化](#)

実施機関名（代表機関）

株式会社アークエッジ・スペース

研究代表者名

福代 孝良

技術開発課題の名称

多目的衛星コンステレーション群の構築（多様な波長・周波数情報を拡張するセンサを搭載した衛星コンステレーションの構築）

本SG評価の位置づけ

本ステージゲート評価は、本技術開発テーマの実施方針/公募要領において、年に1回程度のステージゲート評価が設定されていることから、各課題について技術開発及び事業化に向けた進捗状況の確認を主として実施したものの。

評価の概要

本技術開発課題は、全体として概ね当初計画どおりに進捗していると評価できる。

MDA/海洋DXを重点対象として市場調査・分析、ニーズヒアリング、競争優位性（データ提供リードタイム短縮、VDES/IoT、分析付加価値等）の明確化が進み、重要顧客とのコンタクトや協力機関・企業との連携も進展している点は高く評価できる。

技術面でも、本基金事業による量産・運用基盤構築が概ね順調で、リスクのリスト化と管理、COTS活用等のコスト低減検討、知財戦略策定と特許出願準備、学会等での発信など、実装・社会実装に向けた土台づくりが着実に進んでいると評価できる。

一方で、今後は、技術課題について、評価項目や判定基準、残余リスク等をより明確にして対応していく必要がある。あわせて、本基金事業、その他事業等が並走する全体計画の整合を取り、遅延リスクへ備えるべきである。

さらに、海洋DX等の民生領域ではユーザ獲得を加速、早期に予定されている軌道上実証を実現し、社会実装・マーケティングへ繋げることが求められる。

以上により、公募要領等に示されたステージゲートの観点に照らして、技術開発計画は想定通りに進捗しており、優れた成果が得られている、またはその見通しが得られていることから、技術開発を継続すべきである。

**座長**  
(担当PO)

木村 真一  
東京理科大学 創域理工学部 電気電子情報工学科 教授

**委員**

今井 良一  
元JAXA理事 (第一宇宙技術部門、第二宇宙技術部門、研究開発部門兼務)

**委員**

尾崎 典明  
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーシップ 副代表理事

**委員**

片岡 晴彦  
日本宇宙安全保障研究所 副理事長

**委員**

門脇 直人  
国立研究開発法人情報通信研究機構 主席研究員

**委員**

栞原 聡文  
東北大学グリーン未来創造機構 グリーンクロステック研究センター 教授

**委員**

張替 正敏  
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 アドバイザー

敬称略、座長を除き、委員は五十音順  
利益相反マネジメント規程に則り、審査委員は、利益相反がある技術開発課題についての審査をしていない